



1

第49回くずまき町民まつり

広がる交流と賑わい



2



①オープニングを飾った葛巻保育園児のダンス②セレモニーであいさつをする鈴木町長③モウモウ館の農産物の販売④はたらく車コーナーで自衛隊の車両に乗車する子どもたち⑤賑わう屋台村⑥福島県広野町の物産コーナー



お菓子まきで賑わう社会体育館の様子

第49回くずまき町民まつりは10月21日と22日、社会体育館とモウモウ館で開催され、延べ3500人が来場しました。

社会体育館が会場 4年ぶりに一同に

くずまき町民まつりは、令和2年度から感染症対策のため屋外で開催されてきましたが、今年は4年ぶりに社会体育館を会場に開催。オープニングセレモニーで鈴木重男町長は「この1年を共に振り返り、さまざまな角度から地域の活力を高めていきたいと思います」とあいさつしました。

各商店や団体はアリーナや屋外の屋台村などに出品。葛巻高校は白石食品工業(株)と共同開発した「くずまきパン」を発表し、注目を集めています。(関連記事14ページ)ステージではテレビ朝日で放映中の「王様戦隊キングオージャー」のショーが子どもたちを楽しませ、盛岡さんさ踊りや歌謡ショーなどの催し物も観客を沸かせていました。また、モウモウ館では農産

物などが販売され、買い物客が野菜や果物を腕いっぱい抱えていました。

地域間連携で集客 会場に賑わい創出

会場には、今年の5月に連携協定を締結した福島県広野町を紹介するコーナーが設けられ、特産品のバナナや関連商品が販売されました。また、九戸村や岩泉町からの出店もあり、地域間の連携で幅広い集客とイベントの盛り上がりを図りました。

澤マツエさん(垂柳)は「1日目がとても楽しかったので2日目は友だちを誘って来た。ステージもお店もとても良かったので、来年もやって欲しい」と大いに楽しんだ様子でした。町商工会の吉澤信光会長は「地元出店者は減少傾向にあるが、高校生や青年会、また町外からの出店者もイベントを盛り上げてくれた。地域の事業者とのバランスに配慮しながら、今後も活気あるイベントになるよう工夫していきたい」と話していました。



子どもに大人気のミルンちゃん



商工会青年部のミニ四駆コーナー



町青年連合協議会の縁日



商工会工業部会の包丁研ぎサービス



森林組合によるしいたけの原木の販売



商工会のタイムサービスには長い列